

グレーチングの施工とメンテナンス（フリーハードル）

ご注文の際の確認事項

■ 本体幅の確認

設置する枠の内寸に対して本体幅を4mm~5mm小さく設定してください。枠の内寸で本体を製作してしまうと、フリーハードルが収まらなかったり、取り外せなくなる場合があります。また材質の関係で製作上の誤差が発生する場合があります。

■ カラーの確認

タイプによっては各色カラーをご用意している場合があります。ご希望のカラーのご指定をお願いします。

■ 直線、曲線仕様の確認

フリーハードルはw曲線、直線に対応可能ですが、タイプによって、直線専用、曲線専用タイプがある場合があります。設置予定の場所が曲線部がある場合は担当営業までお問い合わせください。

■ コーナー、変形箇所の確認

L字コーナーにおいては枠に補強がない場合、フリーハードルに補強が必要な場合があります。その他、変形がある場合は担当営業までお問い合わせください。

設置時のお願い

- 設置する場合はメンテナンスを考慮して連結を2m程度にしてください。
- 設置する場所は受け枠面にゴミや凹凸が無いようにしてください。
- 受け枠幅に合わせてフリーハードルを用意してください。
- 受け枠と製品の隙間は製品を片側に寄せた状態で5mm以内にしてください。
- 設置する際の受け枠部は本体に対して片側20mm以上かかるようにしてください。
- 本体の厚みに合わせて枠の高さを調整してください。
- 本体長さの切断は連結部をカッター、ノコギリ等で切断してください。ただし切断部からの再接続が出来ない場合がありますのでご注意ください。
- 樹脂製品の為、温度変化により伸縮を繰り返し最終的に縮む傾向となります。また設置面が商品の融点を超える場合、融け、波打ちが生じる場合がありますのでご注意ください。

お手入れの仕方

- 日常のお手入れは、水又は薄めた中性洗剤で洗ってください。
- 洗剤が残らないように洗い流してください。滑って転倒などの原因になります。
- アルコール及びシンナー系溶剤は使用しないでください。変色する恐れがあります。
- 清掃時は丸く巻き上げて清掃してください。この際、乱暴に扱わないでください。連結部破損の恐れがあります。
- 樹脂を使用している場合、樹脂劣化等も考えられますので、定期的な点検をお願い致します。
- 廃棄の場合は各自治体の指示に従って処理してください。

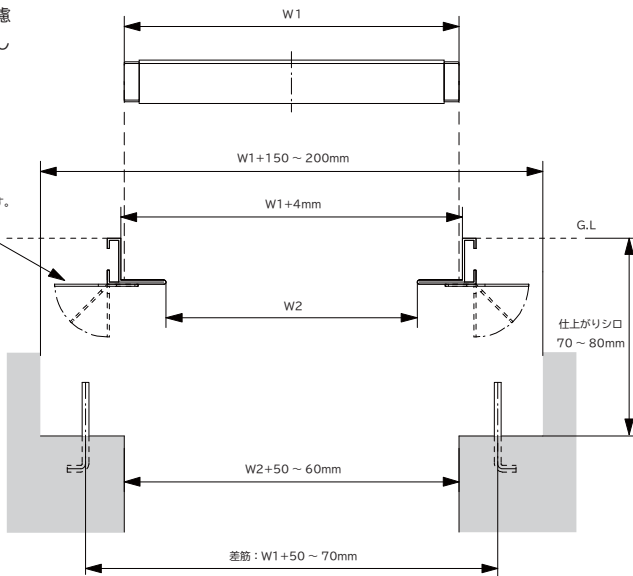
受け枠施工要領

フリーハードル専用受け枠：※詳しくは当社営業員までお問い合わせください。

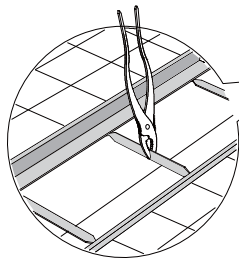
①右記の寸法、受け枠の取り付けを考慮して型枠を作りコンクリートを打設してください。

アンカーを適度な角度に曲げて差筋に溶接します。
※アンカーピッチは400~450mmとなります。

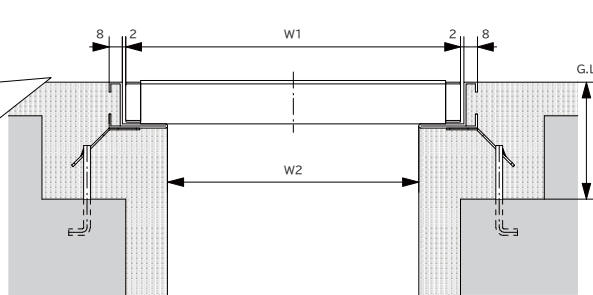
W1：フリーハードル本体幅
W2：溝仕上がり幅



②水平や仕上げ墨とのレベルを確認後、モルタルを充填し仕上げます。

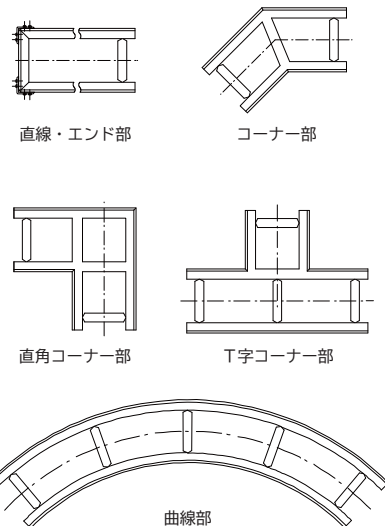


モルタル乾燥後にR部、コーナー部の幅出しをプライヤーなどを使って取り外します。



受け枠形状

フリーハードル専用受け枠



連結方法

フリーハードル専用受け枠

